

『イチオシ!!』での「知床・観光船沈没事故 KAZU I 引き揚げ ヘリコプター中継」

依田英将アナウンサーが ANN アナウンサー賞大賞を受賞

この度、依田英将アナウンサーが第 21 回 ANN アナウンサー賞*大賞を受賞しました。同アナウンサーは、2022 年 5 月 26 日（木）に放送された『イチオシ!!』における「知床・観光船沈没事故 KAZU I 引き揚げ ヘリコプター実況」で番組部門の優秀賞を受賞。さらに、その後の審査ですべての部門で最も優れたアナウンサーに贈られる大賞を受賞しました。ANN アナウンサー賞で現行制度の大賞が創設されたのは第 10 回からで、HTB として初の大賞受賞となりました。講評では、「描写が端的で正確、感傷を抑えた口調は誠実で信頼に足る」「刻々と変化する状況リポートとスタジオとの掛け合い、さらにはカメラワークまで、すべてを冷静に、的確にコントロールできていた」「事故直後から取材を続けてきた努力が、すべてこの瞬間に結実した。ヘリ中継は様々な制約と肉体的負担も重いものだが、それを感じさせない珠玉の報道リポート」と高く評価されました。また、五十幡裕介アナウンサーが、スポーツ実況部門で優秀賞を受賞しました。

ANN アナウンサー賞は、ANN 系列加盟社 26 社のアナウンサーが年間を通して携わったアナウンス業務のうち、向上心・探究度が厚く、取材・構成・アナウンスメント技術において多大な努力が認められ、特に 1 年間の成長・技術的向上が顕著であった者に贈られる賞です。今回は 2021 年 10 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日までの放送・作品を対象に審査が行われました。ナレーション部門・番組部門・スポーツ実況部門の 3 部門があり、部門ごとにアナウンサー経験 16 年以内のアナウンサーによる優秀賞、5 年以内のアナウンサーによる新人賞をそれぞれ選出。3 部門の新人賞から最優秀新人賞が、さらに最優秀新人賞と各部門の優秀賞から最高峰である大賞が選出されます。

2010 年（第 9 回）の優秀賞に次いで 2 度目の優秀賞、そして大賞を受賞した依田アナウンサーは、「ヘリコプターからぼんやりと見えた KAZU I の船体を前に、『冷静であれ』と何度も自分に言い聞かせました。知床には ANN 取材団として延べ 12 日間現地入りしましたが、『ソナーに映った影は船ではなく岩でした』と、家族の方々にとって無念極まりない速報も伝えなければなりません。『適切なトーンと表現とは何か』を常に考えさせられた現場でした。これからも、その場所にいるからこそできる現場レポートを心掛けたいと思います」とコメントしています。

HTB は、今後も「伝えるプロ」としてアナウンサーの技量向上に努め、報道や情報、エンターテインメントなど多様なコンテンツの発信力を高め、地域の基幹メディアとしての役割と使命を果たしてまいります。

*HTB アナウンサーの受賞歴

- 2003 年（第 2 回） 谷口直樹アナウンサー（優秀賞）
- 2004 年（第 3 回） 森さやかアナウンサー（優秀賞）
- 2010 年（第 9 回） 依田英将アナウンサー（優秀賞）
- 2014 年（第 13 回） 西野志海アナウンサー（新人賞）
- 2016 年（第 15 回） 五十幡裕介アナウンサー（優秀賞）、福田太郎アナウンサー（最優秀新人賞）
- 2019 年（第 19 回） 特別賞（on ちゃんおはなし隊の活動）
- 2020 年（第 20 回） 特別賞（「今、わたしたちにできること」10 年にわたる防災・減災の呼びかけ）

